



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月4日

上場会社名 株式会社 サンマルクホールディングス
 コード番号 3395 URL <https://www.saint-marc-hd.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤川 祐樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 岡村 淳弘

TEL 086-246-0309

四半期報告書提出予定日 2022年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	35,590	11.3	2,541		2,588		3,843	
2021年3月期第3四半期	31,967	40.0	3,111		3,049		5,841	

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 3,845百万円 (%) 2021年3月期第3四半期 5,847百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	180.29	
2021年3月期第3四半期	274.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	51,244	32,955	64.3
2021年3月期	55,811	37,678	67.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 32,938百万円 2021年3月期 37,678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		22.00		22.00	44.00
2022年3月期		22.00			
2022年3月期(予想)				22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	11.4	2,700		2,400		4,500		211.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	22,777,370 株	2021年3月期	22,777,370 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,446,668 株	2021年3月期	1,474,372 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	21,318,390 株	2021年3月期3Q	21,303,101 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報 「参考資料」	10
(1) 仕入実績	10
(2) 販売実績	10
(3) 種類別販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い、政府や各自治体からの緊急事態宣言やまん延防止等重点措置に係る各種要請により、大型商業施設に臨時休業や営業時間の短縮要請が出されておりましたが、10月以降、緊急事態宣言解除に伴う行動制限の緩和、ならびにワクチン接種率の上昇に伴い経済回復の兆しが見えつつありました。一方で、新たな変異株の発生に伴う感染再拡大に加え、原油を中心とした価格の高騰が個人消費にも影響を与えるなど、依然として先行き不透明な状況にあります。

外食業界におきましては、10月以降の緊急事態宣言の解除後、客数には一時的に回復傾向がみられるものの、新しい生活様式の普及による外食の自粛傾向は続いており、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、お客様に安心安全な環境を提供できる店舗づくりのため、飛沫感染防止対策の亚克力板設置、店舗での消毒・衛生の徹底、検温、マスク着用や手指消毒など感染防止対策を続けてまいりました。また、来店動機となるプレミアムなメニュー開発に取り組む一方で、不採算店舗を中心に業態変更や退店を実施することで業績の改善に努めてまいりました。

新規出店の状況につきましては、当第3四半期連結累計期間中にベーカリーレストラン・サンマルク直営店1店舗、生麺工房鎌倉パスタ直営店3店舗、神戸元町ドリア3店舗、サンマルクカフェ直営店4店舗、フランチャイズ2店舗、計6店舗をそれぞれ出店（当第3四半期連結累計期間出店数：直営店11店舗、フランチャイズ2店舗、合計13店舗）し、これにより当社グループ全業態の当第3四半期連結会計期間末の合計店舗数は、直営店816店舗、フランチャイズ店31店舗、合計847店舗体制となりました。

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高355億90百万円（前年同期比11.3%増）、経常利益25億88百万円（前年同期経常損失30億49百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失38億43百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失58億41百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

レストラン事業売上高は194億39百万円（前年同期比10.2%増）、営業損失は6億49百万円（前年同期営業損失7億16百万円）となりました。

喫茶事業売上高は159億78百万円（前年同期比13.0%増）、営業損失は8億22百万円（前年同期営業損失13億89百万円）となりました。

当社の実験業態に係る事業であるその他事業売上高は1億72百万円（前年同期比7.9%減）、営業損失は79百万円（前年同期営業損失1億1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は512億44百万円となり、前連結会計年度末と比較して45億67百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は218億94百万円となり、前連結会計年度末と比較して22億55百万円の増加となりました。これは主に長期借入金が増加した一方、新株予約権付社債の発行ならびに感染拡大防止協力金の入金により、現金及び預金が17億61百万円増加するとともに、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったことにより、売掛金が10億43百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は293億49百万円となり、前連結会計年度末と比較して68億22百万円の減少となりました。これは減損損失及び減価償却費の計上に伴い有形固定資産が34億80百万円減少するとともに、繰延税金資産の減少等により投資その他の資産のその他が32億63百万円減少したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は62億19百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億14百万円の増加となりました。これは主に未払消費税等が4億8百万円、買掛金が2億73百万円、それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定負債は120億68百万円となり前連結会計年度末と比較して9億60百万円の減少となりました。これは主に社債が新株予約権付社債の発行により60億50百万円増加した一方、長期借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産の部は前連結会計年度末と比較して47億22百万円減少して329億55百万円となりました。この結果、自己資本比率は64.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月11日の四半期決算短信で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,015,996	16,777,835
売掛金	3,422,767	4,465,778
原材料及び貯蔵品	316,358	395,087
その他	901,015	534,355
貸倒引当金	△16,411	△278,153
流動資産合計	19,639,726	21,894,903
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,094,781	12,910,106
土地	3,894,354	3,894,354
その他(純額)	955,258	659,116
有形固定資産合計	20,944,394	17,463,577
無形固定資産		
その他	177,532	146,525
無形固定資産合計	177,532	146,525
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,883,750	8,576,522
その他	6,427,003	3,163,357
貸倒引当金	△260,752	△752
投資その他の資産合計	15,050,002	11,739,127
固定資産合計	36,171,928	29,349,229
資産合計	55,811,655	51,244,133
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,778,203	2,051,652
未払金	2,369,855	2,617,546
未払法人税等	530,465	665,436
引当金	83,327	9,074
資産除去債務	69,624	79,909
未払消費税等	16,314	424,789
その他	257,046	371,366
流動負債合計	5,104,838	6,219,776
固定負債		
社債	—	6,050,301
長期借入金	8,000,000	800,000
長期未払金	18,441	—
退職給付に係る負債	253,885	275,472
資産除去債務	4,505,435	4,447,396
その他	251,003	495,518
固定負債合計	13,028,766	12,068,689
負債合計	18,133,605	18,288,465

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,731,177	1,731,177
資本剰余金	3,038,999	3,038,800
利益剰余金	36,480,336	31,675,902
自己株式	△3,579,108	△3,511,681
株主資本合計	37,671,404	32,934,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,644	4,663
その他の包括利益累計額合計	6,644	4,663
新株予約権	—	16,805
純資産合計	37,678,049	32,955,667
負債純資産合計	55,811,655	51,244,133

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	31,967,289	35,590,796
売上原価	6,997,864	7,960,303
売上総利益	24,969,424	27,630,492
販売費及び一般管理費	28,080,425	30,171,678
営業損失(△)	△3,111,000	△2,541,186
営業外収益		
受取利息	6,770	3,094
受取配当金	1,574	1,675
受取賃貸料	144,721	176,220
感染拡大防止協力金	—	5,309,547
その他	193,088	61,891
営業外収益合計	346,155	5,552,428
営業外費用		
支払利息	45,995	6,274
支払賃借料	118,418	150,115
社債発行費	—	220,308
その他	120,461	45,576
営業外費用合計	284,875	422,275
経常利益又は経常損失(△)	△3,049,721	2,588,966
特別利益		
助成金収入	926,899	348,561
固定資産売却益	999	—
特別利益合計	927,899	348,561
特別損失		
固定資産売却損	23,866	—
固定資産除却損	202,411	114,262
減損損失	3,515,674	2,351,403
貸倒引当金繰入額	128,231	—
繰上返済手数料	—	23,892
事業整理損失引当金繰入額	278,817	—
新型コロナウイルス感染症による損失	2,358,199	223,032
特別損失合計	6,507,201	2,712,590
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△8,629,023	224,936
法人税、住民税及び事業税	536,335	892,316
法人税等調整額	△3,324,033	3,176,214
法人税等合計	△2,787,697	4,068,531
四半期純損失(△)	△5,841,326	△3,843,594
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,841,326	△3,843,594

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純損失(△)	△5,841,326	△3,843,594
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,865	△1,980
その他の包括利益合計	△5,865	△1,980
四半期包括利益	△5,847,191	△3,845,575
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,847,191	△3,845,575
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、当社グループが運営するポイント制度について、従来は販売時に収益を認識しておりましたが、付与したポイントを履行義務として認識し、将来の失効見込み等を考慮して算定された独立販売価格を基礎として取引価格の配分を行う方法に変更しております。また、他社が運営するポイント制度にかかる負担金について、従来は総額を収益として認識し、負担金を販売促進費として計上しておりましたが、純額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は282,751千円減少し、販売費及び一般管理費は228,365千円減少し、営業損失は54,385千円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は54,385千円減少しております。なお、期首利益剰余金に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(事業整理損失引当金繰入額の内容)

SAINT MARC USA INC.の店舗閉店に伴い発生すると見込まれる損失額を計上しております。

(繰上返済手数料の内容)

長期借入金の一部期限前返済を実施したことに伴う手数料であります。

(新型コロナウイルス感染症による影響)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症による影響が当連結会計年度末までに収束しないとの仮定のもと、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性に係る会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が想定以上に長期化した場合は、固定資産の追加的な減損などを通じて当社グループの財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

四半期連結損益計算書に記載されている「助成金収入」は、新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金

等であります。また、「新型コロナウイルス感染症による損失」は、新型コロナウイルス感染症に伴う、休業中店舗の人員費、地代家賃及び減価償却費であります。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	レストラン	喫茶	その他 (注)1	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,639,166	14,140,379	187,744	31,967,289	—	31,967,289
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	17,639,166	14,140,379	187,744	31,967,289	—	31,967,289
セグメント損失(△)	△716,791	△1,389,665	△101,188	△2,207,645	△903,355	△3,111,000

(注) 1. 「その他」セグメントは、実験業態に係る事業であります。

2. セグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△903,355千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」「喫茶」「その他」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗ならびに収益性の低下した店舗の固定資産に係る重要な減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、「レストラン」セグメントで1,353,018千円、「喫茶」セグメントで1,963,921千円、「その他」セグメントで198,733千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	レストラン	喫茶	その他 (注)1	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,439,271	15,978,682	172,841	35,590,796	—	35,590,796
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	19,439,271	15,978,682	172,841	35,590,796	—	35,590,796
セグメント損失(△)	△649,697	△822,800	△79,077	△1,551,574	△989,611	△2,541,186

(注) 1. 「その他」セグメントは、実験業態に係る事業であります。

2. セグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△989,611千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2021年4月1日付にて当社のチャイナ事業を会社分割し、当社子会社の(株)サンマルクグリルに承継したことに伴い、従来、「その他」に含まれていた同社の事業を「レストラン事業」の区分に含めております。

なお、当第3四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度に開示した第3四半期連結累計期間に係る報告セグメントとの間に相違が見られます。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」「喫茶」「その他」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗ならびに収益性の低下した店舗の固定資産に係る重要な減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、「レストラン」セグメントで1,167,617千円、「喫茶」セグメントで1,144,629千円、「その他」セグメントで39,155千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

「参考資料」

前連結会計年度より、セグメント区分の変更を行っており、前期比較については、変更後の区分方法に組み替えたものによっております。詳細につきましては、前記「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報) 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

(1) 仕入実績

当第3四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	4,683,230	112.3
喫茶	3,290,398	118.2
その他	46,436	87.5
合計	8,020,065	114.4

(2) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	19,439,271	110.2
喫茶	15,978,682	113.0
その他	172,841	92.1
合計	35,590,796	111.3

(3) 種類別販売実績

当第3四半期連結累計期間の種類別販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

種類	直営店売上		ロイヤリティ収入		F C関連等売上		合計	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
レストラン	18,950,168	110.3	66,290	101.9	422,811	106.1	19,439,271	110.2
喫茶	15,696,902	112.8	24,267	136.5	257,512	124.1	15,978,682	113.0
その他	170,589	92.1	—	—	2,252	90.1	172,841	92.1
合計	34,817,660	111.3	90,558	109.4	682,576	112.2	35,590,796	111.3